

指定管理者評価票（令和元年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町耕心館  
 担当部課係：教育部 社会教育課 推進係（～H26.9.30）  
 教育部 図書館 文化財担当（H26.10.1～）

1 指定管理者の名称	アクティオ株式会社
2 指定管理の期間	令和元年4月1日から令和6年3月31日まで 5年
3 指定管理の目的及び求める効果	耕心館の管理運営を効率的かつ効果的に行なうため、耕心館指定管理者制度を導入する。
4 指定管理の業務内容	1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受
5 施設の概要	
(1)施設及びサービスの内容	コンサート・展示会など各種事業を展開し、地域文化の一層の増進と住民に安らぎを与える。
(2)規模	敷地 3668.59㎡ 建物 母屋461.86㎡ 事務所49.58㎡ 蔵65.52㎡
(3)設備内容	母屋1階 和室、洋室、展示ギャラリー、くつろぎの間 母屋2階 多目的大広間、ステージ、控室
(4)設置年月及び経過年数（導入時）	江戸時代末期 (導入後11年経過)
(5)建設費用	土地購入費 3億3千万円 建物 無償
(6)大規模改修の経緯と費用	平成12年6月、フランス料理店の跡地を社会教育施設として瑞穂町が購入。平成13年度、15年度3,780万円をかけて改修工事を実施。
(7)維持補修・改修の予定及び時期	
6 指定管理における具体的な目標	
(1)利用者へのサービス水準の向上目標	主催事業の充実、専用ホームページの開設。
(2)運営の効率化に関する目標	予実管理表、事業計画、業務日報を作成し、PDCAマネジメントサイクルにて運用し見直しと効率化を図る。
(3)施設維持管理費に関する削減目標	維持管理の基本方針（法令順守・保守点検・不具合時の迅速対応・省エネ/省資源・利用者の意識喚起・予防保全）と維持管理業務計画による経費削減に取り組む。
(4)その他の目標	町民が安らぎとゆとりの時を過ごし、憩いの場となることを目標とする。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	アンケート実施

指定管理評価票（令和元年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町耕心館  
 担当部課係： 教育部 社会教育課 推進係（～H26.9.30）  
 教育部 図書館 文化財担当（H26.10.1～）

業務評価指標		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
協定書・仕様書で示した事項	文化、芸術の普及・振興に関する事業	全主催事業数 75事業	全主催事業数 80事業				
	使用の許可及び制限等に関する業務	適正に運営	適正に運営				
	利用料金の收受業務	186,920	191,900				円
	喫茶コーナーの運営業務	13,926	12,248				人
	施設、設備の維持及び保全業務	適正に運営	適正に運営				
	清掃その他環境衛生管理業務	適正に運営	適正に運営				
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	347	348				日
	実開館日数	347	344				日
維持管理状態		上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり				

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		38,235,000	41,284,000				円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		0	0				円
職員の投入実態		175,000	175,000				円（時間*人/週）
物品の提供実態		0	0				円
インプット指標合計		38,410,000	41,459,000				円
提供物品の名称と数量：		0	0				

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
施設延べ利用者数		67,327	47,489				人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	0	0				人/年間
	町外在住者	0	0				人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	283	288				日/年
	稼働日数	347	346				日/年
	稼働率	82%	83%				
利用料収入		186,920	191,900				円
その他収入	事務所家賃 *	0	0				円
	事務所光熱水費 *	0	0				円
	主催事業入場料等	3,408,449	3,646,307				円
	計	3,408,449	3,646,307				円

※ 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		38,235,000	41,284,000					円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		175,000	175,000					円
利用料収入		186,920	191,900					円
その他収入		3,408,449	3,646,307					円
収入の部 合計	算定	42,005,369	45,297,207					円
	実収入	41,830,369	45,122,207					円

支出の部		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5	
報酬		17,351,861	18,762,964					円
賃金(臨時職員等)		1,485,694	1,536,456					円
報償費（出演者、講師、審査員謝礼）		5,152,458	5,076,426					円
需用費（消耗品、燃料費、印刷製本費、修繕料、食糧費）		6,971,140	5,986,390					円
役務費（通信運搬費（切手、電話代）自動車保険料、建物保険料ピアノ調律）		1,403,385	1,525,504					円
委託料(保守点検、警備、定期清掃、庭木選定)		3,873,700	3,676,310					円
使用料及び賃借料（ラジオ聴取料、電柱共架料）		145,260	163,770					円
事務費		5,245,711	8,286,799					円
備品購入費		201,160	107,588					円
支出の部 合計		41,830,369	45,122,207					円

収支差引	算定	175,000	175,000					円
	実収支	0	0					円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

利用者数の増加への取組み	H30	設置目的に則した施設運営、委託事業のジュニアピアノコンサート、サロンコンサート、主催事業のノクターンコンサート、企画展、つるし飾り等を実施し、来館者増に取り組み、前年度比8%、5,005人増となりました。
	R1	設置目的に則した施設運営、主催事業として世間の流行などを調査し、幅広い年代にお楽しみいただける事業を実施し、各事業の特徴に合った広報活動を行うことで来館者増に取り組みました。
	R2	
	R3	
	R4	
収入増に対する取組み	H30	貸室事業のほか、各回コンサートのチケット販売、つるし飾りの関連グッズ販売など、収入増に取り組みましたが、前年度比12.1%、492,777円の収入減となりました。
	R1	貸室事業のほか、各回コンサートのチケット販売、山野草やつるし飾りの関連グッズ販売など、収入増に取り組みました。
	R2	
	R3	
	R4	

コスト削減に対する取組み	H30	従来の実績を活かし、コンサート出演者の謝金増加抑制、展示事業に係る経費の増加抑制に努めました。
	R1	従来の実績を活かしたコンサート出演者の謝金増加抑制や事務所内でのコピー機の使用や照明器具コストを見直し、経費の削減に努めました。
	R2	
	R3	
	R4	

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	H30	けやき館との連携事業である「みずほ雛の春まつり」では、箱根ヶ崎駅からのシャトルバスを平成29年度に引き続き、会期中毎日運行しました。また、近隣のひな祭りの情報を集約した「西多摩・JR沿線ひな祭り広域マップ」を新規制作し、近隣の自治体や施設、各会場の最寄り駅との連携を図ることで、町内外の来館者の利便性向上に努めました。
	R1	けやき館との連携を含め、館内外の広報活動を充実させ、当館の利用を促しました。特に町内外のデイサービス施設の利用者が多いことから、広報活動を積極的に行いました。また、山野草の開花情報や位置情報を両館の看板等で周知することで利便性を図りました。
	R2	
	R3	
	R4	
プログラム等質の改善	H30	地域文化の理解に基づくコンサートや企画事業の実施に取り組みました。主催事業、コンサート、イベントの来館者は43,304名（1,972名増）にのびりました。
	R1	地域文化の理解に基づきつつ世間の流行などを調査し、幅広い世代が参加でき多様な文化に触れることができるコンサートや企画事業の実施に取り組みました。
	R2	
	R3	
	R4	
利用者の満足度 (アンケート等客観的もの)	H30	来館者に対してコンサートなどのアンケート調査を実施しました。「大変良い」、「良い」の回答は89%と評価を得ています。
	R1	来館者に対してコンサートなどのアンケート調査を実施しました。「大変良い」、「良い」の回答は90%と評価を得ています。
	R2	
	R3	
	R4	

その他

前指定末  
(H30)

R1

R2

R3

R4

R5

		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5		
建設経費（元利返還費用）	建設費	0	0					円	
	償還利息	0	0					円	
利用者1人あたりの経費 (指定管理料等及び指定管理料等+建設経費)	利用者数	67,327	47,489					人/年間	
	管理経費または指定管理料等	38,410,000	41,459,000					円	
	管理経費または指定管理料等/人	570	873					円/人	
	(管理経費または指定管理料+建設費)/人	570	873					円/人	
修繕費（協定等に基づく指定管理者負担上限額：20万円/件）	指定管理者が行なった修繕	件数	13	6				件	
		金額	783,362	662,320				円	
	町が行なった修繕	件数	1	0				件	
		金額	2,956,608	0				円	
	内容	トイレ洗面台修繕、土蔵雨どい修繕等							
		非常用照明交換、御影石フロア修理、屋根瓦修繕等							
内容	耕心館本館外部木製非常階段修繕		0						
立ち入り検査状況									
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、非該当と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	消防法設備点検（法定年2回）	2	2					回	
	冷暖房設備（法定1回）	2	2					回	
	自動ドア（法定外）	2	2					回	
	自家用電気工作物（法定外）	2	2					回	

※修繕費の項目は平成22年度分評価より記載

総括

		R1	R2	R3	R4	R5
経費比較 (指定前と指定後) ※実経費では、「職員の 投入実態」及び「物品の 提供実態」を除外	算定	指定後	41,459,000			円
		前指定末 (H25)	38,410,000			円
		比較	3,049,000			円
	実経費	指定後	41,284,000			円
		前指定末 (H25)	38,235,000			円
		比較	3,049,000			円
評価	前指定末 (平成30年度)					
1次評価 担当課	耕心館では、コンサートや企画展、講座やけやき館との連携事業（みずほ雛の春まつり・山野草まつり）など魅力ある事業を実施し、平成30年度の来館者数は67,327人と前年比8.0%、5,005人増加となった。「みずほ雛の春まつり」では、昨年同様に町企画課及び姉妹都市委員会と連携したパネル展の実施、瑞穂ブランド等の販売、耕心館と箱根ヶ崎駅間のシャトルバス運行、周辺地域等と連携した「ひなまつり広域マップ」を作成し、開催期間中の来館者数は1万人を超える大盛況となった。また、積極的に周辺施設や地域の方と連携した企画を実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいる。施設の管理では、適正かつ迅速に行っており、町担当者と指定管理者が協力して業務遂行にあっている。					
2次評価 指定管理者選定委員会	<b>【主な効果】</b> 瑞穂ブランドなどの販売、耕心館と箱根ヶ崎駅間のシャトルバス運行など、来館者の利便性の向上を図り、また、周辺施設、地域の方と連携したコンサートや企画展、講座等の事業を実施し、来館者の集客及び地域の活性化に取り組んでいる。 <b>【主な指摘】</b> 各事業終了後にアンケート調査を実施し、利用者の意見・希望等を事業に反映させ利便性・満足度を向上させようとする取組は評価できる。周辺施設、地域の方と連携したコンサートや企画展、講座等の主催事業の充実と、更なる来館者の増加を希望する。					
評価	令和元年度（1年度目）					
1次評価 担当課	耕心館では、コンサートや企画展、講座やけやき館との連携事業（山野草まつり）など魅力ある事業を実施しています。また、積極的に周辺施設や地域の方と連携した企画を実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいます。なお、令和元年度の来館者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、2月下旬以降に予定していた瑞穂のつるし飾り（6日間実施）やコンサートなどの事業を中止又は延期したため、47,489人と前年比△29.5%、19,838人の減少となりました。施設の管理では、適正かつ迅速に行っており、町担当者と指定管理者が協力して業務遂行にあっています。					
2次評価 指定管理者選定委員会	<b>【主な効果】</b> コン서트や企画展、講座やけやき館との連携事業（山野草まつり）など魅力ある事業を実施している。また、積極的に周辺施設や地域の方と連携した企画を実施し、集客及び地域の活性化に取り組んでいる。 <b>【主な指摘】</b> ホームページでの広報活動は、利用者サービス向上策として評価できる。今後、主催事業の申込みがスマートフォンやパソコンで可能になれば、利便性の向上が図れると考える。					